

# 課題整理総括表

利用者名

殿

作成日

/ /

自立した日常生活の 阻害要因 (心身の状態、環境等)	①	②	③
	④	⑤	⑥

利用者及び家族の 生活に対する意向	
----------------------	--

状況の事実 ※1		現在 ※2				要因※3	改善/維持の可能性※4	備考(状況・支援内容等)	見通し ※5	生活全般の解決すべき 課題(ニーズ)【案】	※6
移動	室内移動	自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化				
	屋外移動	自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化				
食事	食事内容	支障なし 支障あり					改善 維持 悪化				
	食事摂取	自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化				
	調理	自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化				
排泄	排尿・排便	支障なし 支障あり					改善 維持 悪化				
	排泄動作	自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化				
口腔	口腔衛生	支障なし 支障あり					改善 維持 悪化				
	口腔ケア	自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化				
服薬		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化				
入浴		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化				
更衣		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化				
掃除		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化				
洗濯		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化				
整理・物品の管理		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化				
金銭管理		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化				
買物		自立	見守り	一部介助	全介助		改善 維持 悪化				
コミュニケーション能力		支障なし 支障あり					改善 維持 悪化				
認知		支障なし 支障あり					改善 維持 悪化				
社会との関わり		支障なし 支障あり					改善 維持 悪化				
褥瘡・皮膚の問題		支障なし 支障あり					改善 維持 悪化				
行動・心理症状(BPSD)		支障なし 支障あり					改善 維持 悪化				
介護力(家族関係含む)		支障なし 支障あり					改善 維持 悪化				
居住環境		支障なし 支障あり					改善 維持 悪化				

※1 本書は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。

※2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。

※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、構式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する(複数の番号を記入可)。

※4 今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。

※5 「要因」および「改善/維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための援助内容と、それが提供されることによって見込まれる事後の状況(目標)を記載する。

※6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「-」印を記入。

# 評価表

利用者名 \_\_\_\_\_ 殿

作成日 \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_

短期目標	(期間)	援助内容			結果 ※2	コメント (効果が認められたもの/見直しを要するもの)
		サービス内容	サービス種別	※1		

※1 「当該サービスを行う事業所」について記入する。

※2 短期目標の実現度合いを5段階で記入する

◎: 短期目標は予想を上回って達せられた

○: 短期目標は達せられた(再度アセスメントして新たに短期目標を設定する)

△: 短期目標は達成可能だが期間延長を要する

×1: 短期目標の達成は困難であり見直しを要する

×2: 短期目標だけでなく長期目標の達成も困難であり見直しを要する